

るも本半四月より稼働増進し全半の良及みなき爲に、給出さ
會場の欲より大五十二半より給木貴工繰上り了り出さ
半繰進機

「半繰進出原因 工場長報告

「半繰進出原因 工場長報告

「東田工場

東田工場 四百名（東百名）
西田工場 三百名（西）

「同 東田工場

東田工場 四月二日

「半繰進出原因 工場長報告 十月十二日

「名古屋市中區西區新田一番地

名古屋出社役員

昭和十一年十一月十一日

東田工場 工場長報告

名古屋市中區西區新田一番地

名古屋市中區西區新田一番地

財團協同會名古屋出張所

て東洋紡績株式会社工場より八月工場長として山口保太郎氏
を入社せしめたるも、前工場長を慕ふ、
紡績部女工は病氣退社を知らず休養中と思ひ居るが、現工場長
來任以來其の言動にも不満を感じつつあり、
前工場長の進退を一應會社に訊すこととなり、二日朝紡績部女
工代表村瀬つや外五名は新堂人事係を訪ひ（前鈴木工場長は病
氣全快後復任せられるや）と問ひしに新堂人事係は（既に病氣
退社せられた）と回答したるに依り前工場長再任されるものと
して就業したるも退社と確定したる以上將來現工場長の下には
働き得ずとて、三日より一齊罷業に入つた。外部より關係者無
く罷業を続け來り、四日午前十時村瀬つや外十一名の室長を人
事係室に招致し新堂人事係より懇談し、會社に於いても山口工
場長の言動は充分慎しむ旨を述べたるに對し女工代表者は之を
諒として圓滿解決するに至つた。